

芭蕉翁生家園庭整備について

1. 経過

園庭整備の略歴は近年のものしかなく、また、直近で園庭整備がされていないことから庭木が繁茂した状態となっています。

過年度開催の委員会では新たに園庭として整備しても良いのではとのご意見をいただいています。また、伊賀市教育委員会（文化財課）からも園庭は近年の改修においてその時々で改修されてきており整備し直しても支障はないとのご意見をいただいています。

2. 今後の方針

今後設計を行い、園庭整備工事を進めていく予定です。

今工事の工期への影響と施設開館後に支障が生じない整備区域とを検討した結果、中庭のみ今工事で整備を行い、西側園庭部分は来年度以降に別途工事として進める予定です。また、今回工事で改修を予定していました西側園庭部分の板塀整備工事等も来年度以降に修繕する方針です。

3. 整備内容

園庭整備の内容ですが、大方針としては、昭和59年改修時に方針とされた「芭蕉俳諧の情景描写から推考し、詩的情緒が感じられる庭」としたいと思いますが、具体的な整備内容は専門家の意見を聴きながら進める必要があります。

そのため、工事監理者の望月様のお知り合いである作庭家（野村 勘治 氏）に協力していただく予定で調整しています。

【野村勘治氏プロフィール】

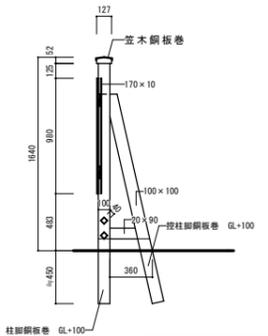
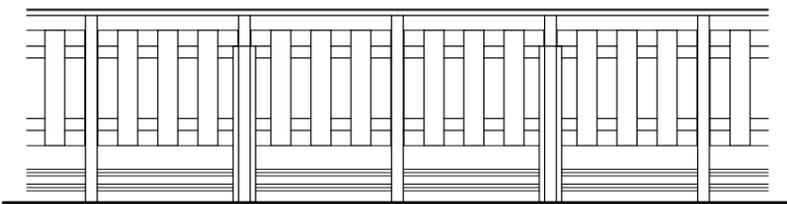


(有)野村庭園研究所代表

<略歴> 1950 年生まれ。重森三玲氏に師事し、作庭のかたわら桂離宮・金閣寺・竜安寺など、名園の実測は百数十庭を数える。

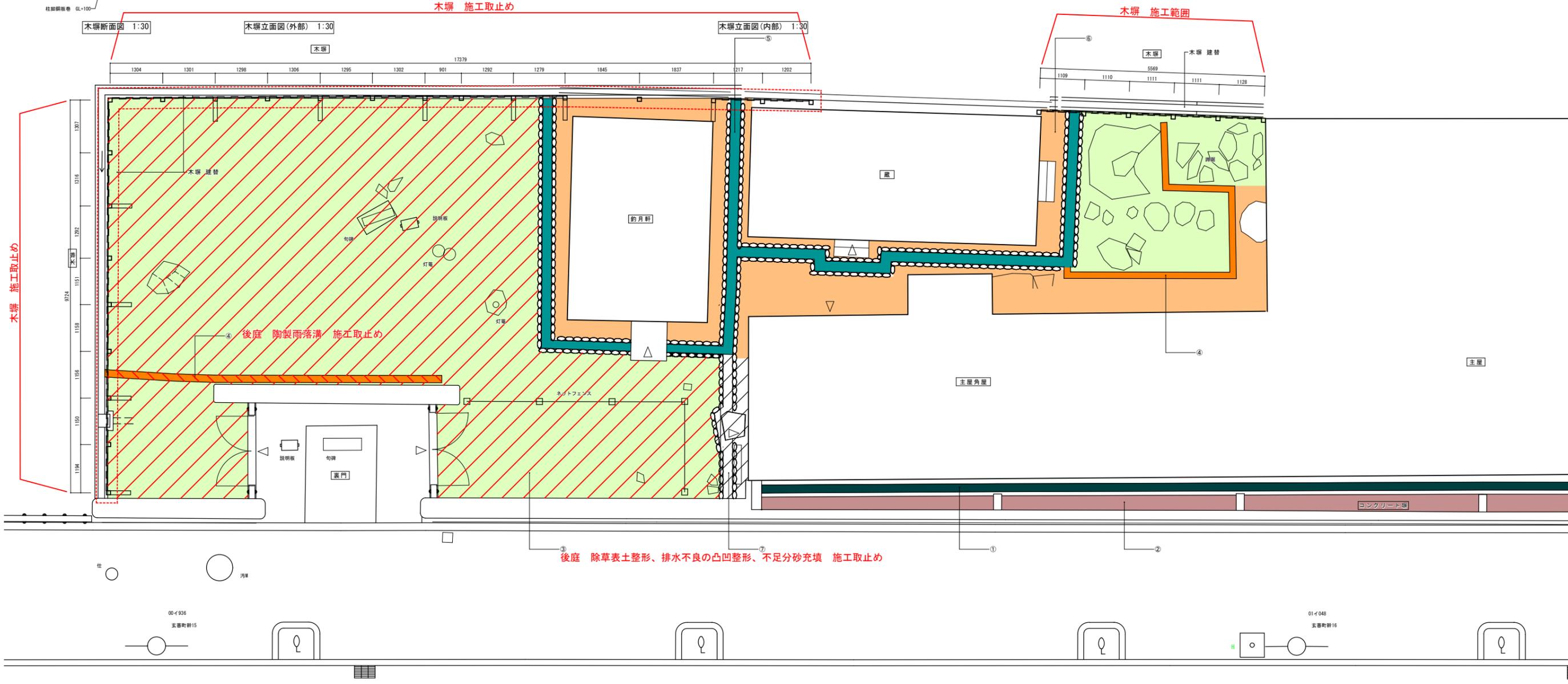
愛・地球博日本庭園、旧吉田茂邸庭園、読売新聞ビル、ザ・リッツ・カールトン京都庭園 監修など。日本庭園学会理事・京都林泉協会副会長。

主な著書に、日本庭園集成（小学館）、禅寺と枯山水（宝島社）などがある。



木塀立面図(外部) 1:30 (Wood fence elevation view (exterior) 1:30)

木塀立面図(内部) 1:30 (Wood fence elevation view (interior) 1:30)



- | | | | | | |
|---|--|---|---------------------------|---|-------------------|
| ① | ① コンクリート側溝：内法幅200 水勾配補正(底ならし)グレーチング蓋
流末間管溝幅130φ | ④ | ④ 中庭・後庭 陶製雨落溝：水勾配補正(据直し) | ⑦ | ⑦ 玉石雨落溝新設、軒内土間タタキ |
| ② | ② 側溝-コンクリート間隙地表面：スキ取り、防草シート敷、化粧砂利敷 | ⑤ | ⑤ 蔵・約月軒 玉石雨落溝：水勾配補正(底ならし) | ⑥ | ⑥ 軒内土間：タタキ表面仕上げ |
| ③ | ③ 中庭・後庭：除草表土整形、排水不良の凸凹整形、不足分砂充填 | | | | |